

平成30年度ダイオキシン類環境調査結果について

ダイオキシン類対策特別措置法第26条第1項に基づき、大気、水質（河川・海域・地下水）、底質（河川・海域）及び土壌の環境中における汚染状況の調査を実施したが、その調査結果は次のとおりである。

1 調査結果の概要

環境媒体		調査地点数	濃度範囲	単位	環境基準	
大気		2	0.0085 ～ 0.049	pg-TEQ/m ³	0.6 以下	
公共用水域	河川	水質	6	0.11 ～ 0.45	pg-TEQ/L	1 以下
		底質	6	0.23 ～ 41	pg-TEQ/g	150 以下
	海域	水質	8	0.054 ～ 0.17	pg-TEQ/L	1 以下
		底質	8	0.18 ～ 12	pg-TEQ/g	150 以下
地下水		3	0.051 ～ 3.6	pg-TEQ/L	1 以下	
土壌		8	0.024 ～ 1.6	pg-TEQ/g	1000 以下	

※環境基準は年平均値

2 調査結果の評価

(1) 大気

調査地点の2地点において、ともに環境基準を達成していた。

(2) 公共用水域水質

河川6地点及び海域8地点の水質において、すべての調査地点で環境基準を達成していた。

(3) 公共用水域底質

河川6地点及び海域8地点の底質において、すべての調査地点で環境基準を達成していた。

(4) 地下水

調査地点の3地点のうち、継続調査を行っている1地点で環境基準を超過していた。

(5) 土壌

調査地点の8地点において、すべて環境基準を達成していた。

3 調査地点ごとの調査結果

(1) 大気 (pg-TEQ/m³)

調査地点	平成30年度		(参考)平成29年度	環境基準
	年平均値	濃度範囲	年平均値	
松江局	0.017	0.0085 ~ 0.029	0.022	0.6 以下
豊洲局	0.029	0.011 ~ 0.049	0.024	

◎ 調査実施日

- ① 春季：平成30年 5月25日～ 6月 1日
- ② 夏季：平成30年 8月 3日～ 8月10日
- ③ 秋季：平成30年11月 9日～11月16日
- ④ 冬季：平成31年 2月15日～ 2月22日

(2) 公共用水域 (水質・底質) (水質：pg-TEQ/L 底質：pg-TEQ/g)

調査地点		平成30年度		(参考)平成29年度		環境基準
		水質	底質	水質	底質	
河川	倉敷川 下灘橋	0.19	41	0.17	44	(水質) 1以下
	倉敷川 盛綱橋	0.32	3.4	0.19	6.1	
	六間川 桜橋	0.43	11	0.29	11	
	県遊水地 水門内	0.18	1.4	0.13	0.74	
	小田川 御仮屋橋	0.11	0.23	0.13	0.57	
	溜川 港橋	0.45	2.5	0.14	1.7	
海域	玉島港区C (501)	0.17	12	0.30	15	(底質) 150以下
	水島港区C (503)	0.12	0.79	0.17	1.1	
	水島港区C (504)	0.070	6.1	0.041	5.9	
	水島地先B (505)	0.061	2.3	0.045	2.8	
	水島地先B (508)	0.057	0.32	0.055	0.13	
	水島地先B (509)	0.059	0.93	0.049	0.40	
	水島地先A (510)	0.054	0.88	0.099	0.57	
児島地先A (804)	0.055	0.18	0.060	0.13		

◎ 調査実施日

河川：平成30年11月16日

海域：平成30年10月18日, 19日

(3) 地下水 (pg-TEQ/L)

調査地点	地下水質	環境基準
水江 学校	0.051	1 以下
鳥羽 民家	0.052	
児島田の口 民家(継続調査)	3.6	

◎ 調査実施日

平成30年10月29日

(4) 土壌 (pg-TEQ/g)

調査地点	土壌	環境基準
老松保育園	0.22	1000 以下
大内保育園	0.024	
大内保育園万寿分館	0.98	
第一福田保育園	1.6	
第五福田保育園	0.28	
赤崎保育園	0.33	
田の口保育園	0.025	
玉島保育園	0.14	

◎ 調査実施日

平成30年11月 1日, 2日

凡例

- 河川
- 海域
- 地下水
- 土壌
- △ 大気

